

まちづくり市民会議の提案に対する回答書

提案①「親子読書コンクール」

来年度、実施する方向で検討します。内容・時期・方法等（名称を含め）については、学校と協議してまいります。

提案②「子どもたちの地域間交流」（教育委員会行事分）

昨年度から行っています「中学生リーダー養成研修会」において、例えば武儀・上之保地区を尋ねて、その地域の自然や文化等を題材にして交流を図るなど、工夫して実施したいと思えます。

提案③「学校のHPの改革」

ご指摘いただいた更新がされていないようなHPについては改善を図ってまいります。ご提案で紹介していただいたHPを目指すということにつきましては、現在のところ実施する考えはありません。

なお、HP運営について、新しい情報を容易にかつ迅速に掲載できるように、来年度をめどに、市内30校が基本的に同じフォームになるHPの作成を考えています。

提案④「SNSを活用した親と教師・学校をつなぐコミュニケーション」

学校が管理者となるSNSの活用は、現時点での運用は考えておりません。

しかし、ご提案の根底にある「親と教師・学校をつなぐコミュニケーション」は大切です。子どもの健やかな成長のために、各校や市教委としても考えていかなければならない課題だと捉えています。

提案⑤「子ども、親、教師が参加する学校対抗の行事」

子どもと親と教師が一堂に会し、学校対抗を行う行事の開催は難しいと考えています。現在、「連合音楽会」（小・中）やタグラグビー（小）、水泳記録会（小・中）、「わたしの主張大会」（中）のほか、スポーツ少年団や中学校部活動の各種大会など通して、学校間の児童生徒の交流が行われていますが、この交流がさらに豊かなものになるよう働きかけをしていきたいと思えます。

まちづくり市民会議の提案に対する回答書

提案②「子どもたちの地域間交流」

平成23年度に板取スイス村体験塾を創設し、小学生の有志を募り、自然体験と農家民泊を行っています。

これまでに、板取地域における自然体験メニューを整備し、川魚捕り、包丁を使った魚さばき、そば打ち、竹とんぼ作り、山登り、沢登り、野菜収穫などを児童に提供してきました。

今後も、板取スイス村を活用して、小中学生が自然に触れ、様々な体験学習ができるように充実を図っていきます。

まちづくり市民会議の提案に対する回答書

提案1 関シティバス・デマンドバスの導入

経費の削減と利便性の向上、多様化する市民ニーズにも柔軟に対応できるデマンドバス（タクシーの活用）を、平成26年度中に地区を限定して試行的に導入します。

提案2 関シティバス・定期乗車券の導入

定期乗車券の導入により利用者の若干の増加は期待できますが、通学利用者の運賃を割り引くことによる収入が減少することが考えられます。したがって、関市シティバスの定期乗車券の導入は、現状では効果が低いと思われるために、今後、慎重に検討していきます。

なお、現在、シティバスの回数券（100円券が11枚綴りで1000円）を販売していますので、市民周知を行い回数券の利用促進を図っていきます。

提案3 関シティバス・市民サポーター制度の導入

地域公共交通を維持していくためには、市民意識の高揚は、欠くことのできないものであり、市民サポーター制度の導入は、たいへん重要かつ意義があると考えます。

関シティバスのサポーター制度は、行政主体ではなく、市民の気運が高まり、市民が主体となるサポーター組織が立ち上がることが望ましいと考えており、今後、その手法や母体を検討していきます。また、長良川鉄道においては、現在、企業を中心とした長良川鉄道協力会すでに組織されています。その組織に、個人会員を募り、支援金をお願いするなど、サポーターを取り込んでいく仕組みを考えていきます。

また、観光施設や商店の割引などのサポーターの特典については、今後、協力企業や店舗を募集し活用を図っていきます。

提案4 関シティバス・観光事業との連携

来年完成を予定している公共交通の乗り継ぎ拠点である関駅西口交通広場には、観光案内所を整備します。新たな利用客の取り込みは重要であるため、施設のオープンに合わせて公共交通の利用者へ、主要な観光施設の最寄りバス停や路線を明記したチラシを配置したいと考えています。また、観光ガイドブックとバス路線図を合わせるなどして、観光への公共交通の利用を促進していきます。

なお、1日フリー切符の導入は、利用者数や利用料金などの面で効果が低いと考えられますが、今後の課題として研究します。

提案5 長良川鉄道・トロッコ列車の復活

トロッコ列車の導入は、長良川鉄道の魅力である自然や風景を楽しむことができ、観光目的の利用者を呼び込む目玉になると考えます。現在、長良川鉄道沿線市町の職員で研究会を設立し、「再構築事業制度の導入」「市民鉄道の再生」「長鉄観光化」を重点課題として長良川鉄道の再生に取り組んでいます。

今後、新たな車両を購入する中で、トロッコ列車も含めワイドビュー車両など大きな窓から景色が楽しめるような車両の導入を長良川鉄道に提案します。